

ダイワJFS・青少年サステナビリティ・カレッジ 「企業が生物多様性保全に取り組む意味」

株式会社レスポンスアビリティ
足立直樹
2008年10月24日
大和証券グループ本社にて



Q:これは「生物多様性の保全」活動？

- 地球温暖化防止のために、植林活動をしています。
- 木を使わずにすむように、ケナフから作った非木材紙を使っています。
- 開発のために森林を切り開きましたが、それと同じ面積の植林をしました。
- 中性洗剤の使用は止め、植物性の石鹼を使うことにしました。
- 事業所内にビオトープを作りました。

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

企業と生物多様性

1. 生物多様性と生態系サービス
2. 生物多様性は経営リスク
3. リスク管理のために本業で取り組む欧州企業
4. 生物多様性をビジネスチャンスにする企業
5. 日本企業の現状と今後

2

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

自己紹介とイントロダクション ～熱帯林の現状～

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

6年前までの職場



Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.



Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

生物多様性の宝庫

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

なぜ熱帯は多様か？

生物間の複雑な相互作用

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

Pictures by Laurence Poh

生物多様性に依存する先住民の生活



Copyright

熱帯林が減少した理由

- 商業伐採
- 焼き畑
- プランテーション



Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

熱帯林破壊の元凶:プランテーション開発



Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

オイルパーム(アブラヤシ)



Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

パームオイルの用途

- 揚げ油(インスタント麺、菓子、外食産業...)
- 粉末状油脂(即席スープ、カレー...)
- 乳化状油脂(コーヒークリーム、ホイップクリーム)
- マーガリン、スプレッド
- アイスクリーム、チョコレート
- 工業用硬化油(石鹼、洗剤、分解用油脂の原料)
- 分解用油脂(樹脂、塗料、インク、化粧品)

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

プランテーションの開発(1)



Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

プランテーションの開発(2)



Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

プランテーションの開発(3)



Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.



急増する絶滅種

過去:
平均1~5種/年
最大10~100種/年(絶滅期)

現在:
1~5万種/年 100種/日

1990年~2020年に、
全世界の生物種の5~15%の生物種が絶滅

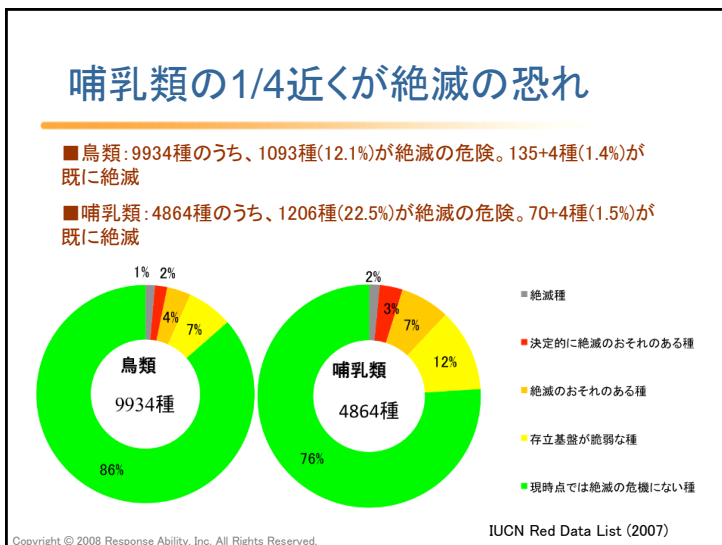
一度絶滅したら、二度と復活できない

過去の100~10,000倍の速度で絶滅が進行中

① オオロックス (1627年絶滅)
② トードー (1681年)
③ タヒチシロ (1777年)
④ ステワードアイギョウ (1768年)
⑤ オギワウマシロ (1828年)
⑥ オオウミガメ (1944年)
⑦ クアガ (1883年)
⑧ スタープインフサイ (1894年)
⑨ フォークランドオオカミ (1880年)
⑩ ニホンオオカミ (1905年)
⑪ カナムリツツシガモ (1913年)
⑫ リュウボト (1914年)
⑬ ジョーンブルグクマ (1931年)

出典: 「生物の保護なぜ必要か」 W. リード、K・R・ミラー著、朝倉書店、サイエンス321、1994年

Copyright © 20 図:「CD-ROM版地球環境キーワード事典」(中央法規,1998)



生物多様性喪失の原因

- 生息域の変化(開発)
- 気候変動
- 侵略種
- 過度の利用(乱獲)
- 汚染
- 自然災害

生物多様性喪失の99%以上は人間活動が原因

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

企業と生物多様性の接点

- 開発過程
 - 土地開発（工場、畑、養殖池） → 生息地の破壊
- 操業過程
 - 環境影響（農薬、化学肥料等の使用） → 汚染
 - 敷地管理（外来種、GMO） → 移入種
- 原材料調達（採集）過程
 - 採掘（鉱物資源、石油、天然ガス） → 生息地の破壊
 - 採集（木材、野生生物、魚） → 乱獲、生息地の破壊

※GMO:遺伝子組み替え作物

開発、操業時だけでなく、サプライチェーンも重要な接点

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.



1. 生物多様性と生態系サービス

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

生物多様性とは？

- 多様な生物種が存在すること

ただし、それだけではない
なぜ、多様な生物種が存在するのか？

- 多様な遺伝子が存在すること

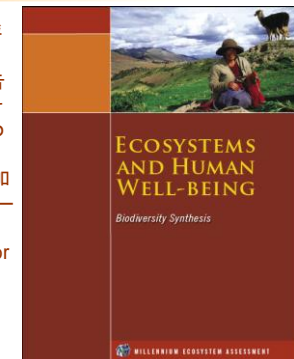
その結果として...

- 多様な生態系が作られる

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

国連ミレニアム生態系評価

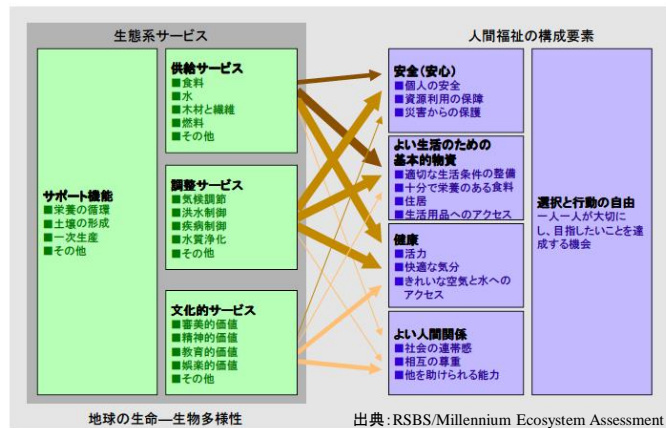
- 2000年にアナン前国連事務総長が呼びかけ
- 2002年に開始、2005年春に概要報告
- 生態系の変化が人類の福利に及ぼす影響について評価し、必要な行動について科学的な基盤を提供
- 世界中の1300人以上の専門家が参加
- 「生態系のIPCC」ジャネット・ランガナータン(WRI)
- <http://www.millenniumassessment.org/en/index.aspx>



23

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

生態系サービスと人間の福利との関連



Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

例えば、供給サービス(財)

- 健康への貢献
 - 薬のおよそ40%が自然由来
(植物24%、微生物13%、動物3%)
- 食糧への貢献
 - 植物:少なくとも8万種が食べられている
(現在の食料:20種で総カロリーの90%)
 - 魚:養殖以外はすべて野性
農作物の品種改良には、多様な遺伝子が必要
- 産業への貢献
 - 繊維、石鹸、化粧品、様々な加工食品、写真フィルム、染料、タイヤ、プラスチック、燃料、家具、紙

生物多様性は健康な人間生活、持続可能な企業、健全な経済、そして持続可能な発展を支えている

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

生態系サービスの莫大な価値

米メリーランド大のコスタンザ博士の試算 (Nature, 1997)

海 (食糧・酸素供給源、二酸化炭素吸収源)	21兆ドル
森林 (気候安定、木材供給、貯水、災害防止など)	4.7兆ドル
川・湖沼 (淡水供給、排水浄化など)	6.5兆ドル
農地 (昆虫受粉など)	0.1兆ドル
合計	約33兆ドル (約3600兆円)

世界全体のGDP:約18兆ドル

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

生物多様性は地球の生命維持システム

- 人間の生活も経済活動も、地球の生態系、種、遺伝子資源など、地球の生物多様性に依存している
- 生物多様性はどこにでもあり、それはすべての人と企業の問題である
- 生態系サービスをどううまく機能させるか? それには、生物多様性の保全がカギ

生物多様性を保全し、生態系をきちんと機能させる

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

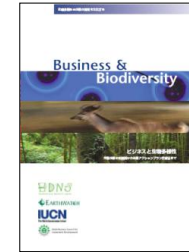


2. 生物多様性は経営リスク

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

生物多様性への取り組みの失敗が企業にもたらすリスク

- 操業許可の喪失
- サプライチェーンの分断(→事業の停止)
- ブランド・イメージの悪化
- 消費者や環境NGOによる不買運動
- 環境破壊による罰金や市民からの責任の追及
- 金融市場での低い格付け
- 従業員の士気や生産性の低下



生物多様性は大きな企業リスク

29

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

企業と生物多様性

- 企業が生物多様性の保全に取り組むのは、環境保護や保全の一環？
- ビジネスを継続する上で必要だから
 - 生物多様性の低下はビジネスリスク
 - 生物多様性の保全はビジネスチャンス

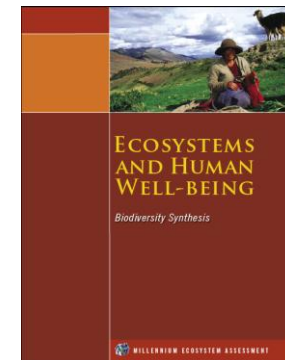
生物多様性はビジネス上の課題

30

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

国連ミレニアム生態系評価

- Synthesis(政策決定者へのまとめ)
1. 過去50年の生態系の変化
 2. 生態系の変化によって得たものと失ったもの
 3. これからの50年の生態系の見通し
 4. 生態系の質の低下を逆転するために



31

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

24の生態系タイプの機能の変化

- 24の機能
 - 15が衰退
 - 5が横ばい
 - 4が向上
- (但し、持続可能性が保証されるわけではない)

Service	Sub-category	Status	Notes
Provisioning Services			
Food	crops	▲	substantial production increase
	livestock	▲	substantial production increase
	capture fisheries	▼	declining production due to overharvest
	aquaculture	▲	substantial production increase
Fiber	wild foods	▼	declining production
	timber	+/-	forest loss in some regions, growth in others
Genetic resources	cotton, hemp, silk	+/-	declining production of some fibers, growth in others
	wood fuel	+/-	declining production
Biochemical, natural medicines, pharmaceuticals		▼	lost through extinction and crop genetic resource loss
		▼	lost through extinction, overharvest
Fresh water		▼	unsustainable use for drinking, industry, and irrigation; amount of hydro energy unchanged, but farms increase ability to use that energy
Regulating Services			
Air quality regulation		▼	decline in ability of atmosphere to cleanse itself
Climate regulation	global	▲	net source of carbon sequestration since mid-century
	regional and local	▼	preponderance of negative impacts
Water regulation		+/-	varies depending on ecosystem change and location
Erosion regulation		▼	increased soil degradation
Water purification and waste treatment		▼	declining water quality
Disease regulation		+/-	varies depending on ecosystem change
Pest regulation		▼	natural control degraded through pesticide use
Pollination		▼	apparent global decline in abundance of pollinators
Natural hazard regulation		▼	loss of natural buffers (wetlands, mangroves)
Cultural Services			
Spiritual and religious values		▼	rapid decline in sacred groves and species
Aesthetic values		▼	decline in quantity and quality of natural lands
Recreation and ecotourism		+/-	more areas accessible but many degraded

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

生物多様性版スターンレビュー

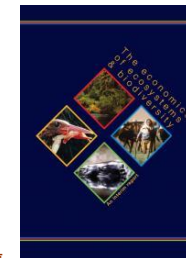
The economics of ecosystems & biodiversity

- COP9のハイレベルセグメントで中間報告書を発表
 - 生物多様性の経済評価

- 適切な対策を行わない場合の2050年のシナリオを提示。
 - 農業などのための改変、インフラの拡張、気候変動によって、自然地域が2000年よりさらに11%が喪失
 - 生物多様性への影響が小さい農業形態の土地の約40%が、生物多様性の減少を伴う集約農業に転換
 - 漁業、汚染、病気、外来種、気候変動によるサンゴの白化により、2030年までにサンゴ礁の60%が喪失

- 毎年約280億ユーロ相当の森林による生態系サービスが喪失、その速度は今後加速

- 2010年には最終報告書が発表
 - 経済的枠組みなどが提示される予定

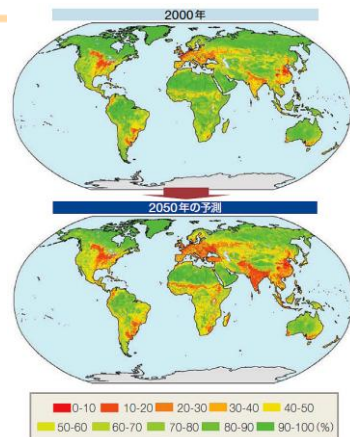


33

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

世界はGDPの6%を失う (TEEB)

- 2000～2050年に
 - MSA(世界の種の生物多様性)は11%減少
 - 森林喪失による経済的損失は1.53兆～3.1兆ユーロ(230兆～530兆円)
- その他の生態系の喪失による損失は未評価



出典: ITpro (NikkeiBP)

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

国際的な流れ

- 生物多様性条約(CBD)(1992)
- ヨハネスブルグ宣言(2002)
- GRIガイドライン、ISO14001(2004)、各種SRI格付調査
- CBD COP8の宣言(クリチバ)
 - 各国政府は企業に対して
 - 生物多様性の重要性を周知すること
 - 生物多様性国家戦略の作成への参加を促すこと
 - 国家戦略や条約の目的の達成に資するような活動を促すこと
- REDDの検討開始(2007年12月、バリ)
 - Reducing Emissions from Deforestation and Degradation in Developing Countries
- CBD COP9(2008年5月、ボン)
 - Business & Biodiversity Initiative(ドイツ政府)
 - 世界34社(うち日本企業9社)が参加

35

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

国内の動き

- 環境報告ガイドラインの新項目に(2007年6月)
- 生物多様性国家戦略が改訂(2007年11月末)
- 生物多様性基本法可決(2008年5月)
- 企業向けガイドライン策定予定(2009年初秋?)
- 生物多様性条約(CBD) COP10を名古屋で開催(2010年10月)

- 「企業と生物多様性イニシアティブ」発足(2008年4月)

36

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB)



- 2008年4月1日発足
- 活動目的
 1. 生物多様性の保全と持続可能な利用に関する学習
 2. ステークホルダーとの対話
 3. グッドプラクティスなどの情報発信
 4. 成果の可視化等に関する研究開発
 5. 生物多様性に関する政策提言
- 会員企業(19社)
 - 株式会社秋村組、味の素株式会社、株式会社INAX、花王株式会社、鹿島建設株式会社、サラヤ株式会社、セイコーエプソン株式会社、積水ハウス株式会社、株式会社大和証券グループ本社、株式会社竹中工務店、帯人株式会社、株式会社電通、トステム株式会社、富士ゼロックス株式会社、松下電器産業株式会社、三井住友海上火災保険株式会社、株式会社三井住友銀行、三菱UFJ信託銀行株式会社、株式会社リコー (五十音順、敬称略)

37

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

どのように保全したらいいのか？

1. 直接影響を緩和する
 - 開発過程
 - 土地開発 (鉱山、工場、オフィス、畑、養殖池)
 - 操業過程
 - 環境影響 (農業、化学肥料等の使用)
 - 敷地管理 (外来種、遺伝子組換え生物)
 2. 間接影響を緩和する
 - 原材料調達 (採集) 過程
 - 採掘 (鉱物資源、石油、天然ガス)
 - 採集 (木材・紙パルプ、野生動物、魚)
 - 水資源 (農業、水道、発電)
 - 投融资の基準
 - 金融、一般企業
 3. それ以外の活動
 - 社会貢献活動
 - 地域の生物多様性の保全
 - 環境教育
 - NGOや専門家の支援
- } 本業を通じた保全
- } あらゆる産業

社会貢献よりも、本業での保全を

38

Copyright

なぜ本業を通じてなのか？

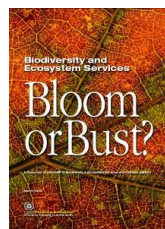
- 影響を与えている部分を管理するのが基本
- ビジネスと生物多様性に関する世界の潮流
- 社会貢献を通しての活動だけでは、グリーンウォッシュと混同されかねない
- 自社のビジネス上のリスクを把握し管理することができる
- 新たなビジネスチャンスを開拓できる

39

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

金融セクターも注目

- UNEP FIがレポートを発行(2008/3)
- 「繁栄か破産か？」
- リスク
 - 評判とブランド、法的責務と法令遵守、投資利益
- 関連する金融分野
 - プロジェクト・ファイナンス、企業向け融資、投資銀行、ファンドマネジメント、貿易金融
- チャンス
 - 新しい金融商品
 - 差別化、ブランディング
 - 新しい投資機会



40

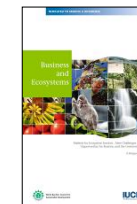
Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

市場メカニズムの利用

3つの主要な方法

1. Direct Payments (直接支払い)
 - 生態系サービスを提供する資源管理者にインセンティブを与える
2. Tradable permits (取引可能な許可証)
 - 市場を用いて環境面の法的責任を管理する
3. Certification (認証制度)
 - 消費者や投資家が情報に基づいて選択できるようにする

“Markets for Ecosystem Services
-New Challenges and Opportunities for
Business and the Environment” (Oct. 2007)



41

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

3. リスク管理のために本業で取り組む欧州企業



Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

リスクとチャンスをはっきりさせるツール

ESR: Corporate Ecosystem Service Review (2008年3月)
<http://www.wri.org/publication/corporate-ecosystem-services-review>

- WBCSDとWRIが主体となり、企業向けに作成したツール
- 「ミレニアム生態系評価」で規定された20の生態系サービスへの依存と影響を評価
- 合理的かつ体系的な検証方法で、ビジネスリスクとチャンス特定

10月2日に日本語版もリリース



Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

生物多様性への取り組みの失敗が企業にもたらすリスク

操業に関するもの

- 原材料の不足またはコストの増大
- 生産量または生産性の低下
- 業務の中断

評判に関するもの

- ブランド・イメージへの悪影響
- 社会的操業許可の危機

規制および法律に関するもの

- 採集・伐採の一時禁止
- 漁獲割当量の減少
- 罰金
- 使用料
- 事業の許可や免許の停止
- 開発申請の棄却
- 訴訟

市場および製品に関するもの

- 公共部門および民間部門の調達方針の変化
- 社会的操業許可の危機

財務に関するもの

- 金融市場の低い格付け

出典: Corporate Ecosystem Service Review
Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

44

操業に関するリスク

Energia Globalの電力源の喪失

✓1990年代、コスタリカの水力発電会社Energia Globalのダム湖で、深刻な土砂堆積のために、ダムの貯水量と発電出力が低下しました。

✓複数の地主が畜産や農業のために、コスタリカ国内のダムの上流にある傾斜地の森林を伐採したことで、大雨が降るたびに土壌浸食と土砂堆積が進んだことが原因でした。



出典: Corporate Ecosystem Service Review
Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

45

規制および法律に関するリスク

Vittelの水質問題

✓1980年代、フランス北東部にある同社の源泉に硝酸と農薬が混入しました。

✓地域の農家が、農地を広げるために、その地域にもとからいた植生を伐採したことが原因でした。

✓フランスの法律により、「天然ミネラルウォーター」のラベルを使用する権利が脅かされました。

出典: Corporate Ecosystem Service Review
Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

46

市場および製品に関するリスク

イギリス政府の木材調達政策

✓2004年、イギリス政府は木材調達の政策を改訂しました。現在、英国政府が調達する木材は、合法的に伐採されたもので、持続可能な産地から木材を供給するサプライヤーからのものでなくてはなりません。

✓Travis Perkinsは、木材販売の20%近くをイギリス政府の建設プロジェクトで占めており、政府の木材調達政策に順応しなければ、事業の相当の割合を失うリスクに直面しました。



Travis Perkins

出典: Corporate Ecosystem Service Review
Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

47

Royal Dutch Shell




- 2001年 エネルギー会社で初めてBiodiversity Standardを制定
- 生物多様性を内部の保証プロセスの中に組み込む→経営陣も重視
- 開発をしない場所を特定
 - 2003年 世界遺産地域で石油やガスの開発をしない宣言
 - IUCNのカテゴリーI～IVに指定されている地域では2005年までに操業停止
- 生物多様性の価値が高い地域では2007年までにBAPを策定
- それ以外の地域でも影響評価を実施
- オンラインのマッピングシステムを開発(BP、Rio Tintoと共同)
 - 環境面で脆弱な地域を特定
 - 操業地、計画事業と地図上で対応させ、環境リスクを把握
 - モニタリング情報は、ECOISHAREに提供
- 世界中で120の生物多様性関連のプロジェクトに参加している。
 - 科学的プログラム、保護、教育、能力開発、地元の人々の生計に役立つ環境保全
 - 地域のパートナー（含むNGO）を重視

48

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

Rio Tinto



- 世界的な鉱山会社(英豪)
- 長期目標: Net Positive Impact(正味でいい影響)
- 生物多様性オフセットなど対策で、ポジティブな影響がネガティブな影響を上回るようにする

Figure 3: Biodiversity effects and impact mitigation - Defining Net Positive Impact (NPI) in Rio Tinto

Source: Anstee et al. in preparation

49

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

「生物多様性オフセット」

ミチゲーションの階層:

1. 回避(avoid)
2. 軽減(reduce, moderate, minimize)
3. 救出(rescue, relocation, translocation)
4. 修復(repair, reinstate, restore)
5. 補償(compensation)／オフセット

出典: BBOP

50

Thanks to Martin Hollands and Josh Bishop for slide

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.



- 世界最大級の消費財メーカー
 - 食品、石鹸、化粧品、日用品など
 - 150か国に展開
 - 「グローバルイズムの先鞭者」?
- 持続可能な原材料調達のために各種イニシアティブ
 - LEAD: 自社サプライヤー向け
 - MSC: 漁業&水産物
 - レスポンシブル・コモディティーズ・イニシアチブにも参加(農産物)
 - RSPO(パームオイル)の創立メンバー
 - ラウンドテーブル・オン・レスポンシブル・ソイにも参加

51

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

4. 生物多様性をビジネスチャンスにする企業

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

生物多様性への取り組みの成功が企業にもたらすチャンス

操業に関するもの

- 操業効率の向上
- 影響の低い産業プロセス

市場および製品に関するもの

- 新しい製品やサービス
- 認証製品の市場
- 生態系サービスの市場
- 自社が保有または管理する生態系からの新たな収入源

規制および法律に関するもの

- 操業拡大の正式な許可
- 新たな規制に適合した新製品
- 政府の政策を具現する機会

財務に関するもの

- 環境意識の高い貸し手および社会的責任投資ファンドなどによる投融資

出典：Corporate Ecosystem Service Review

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

53

BIONADE (炭酸飲料)

- 世界初の100%天然原料、オーガニック発酵飲料
- 低カロリー、豊富なビタミンとカルシウム
- バイエルンの地ビール醸造工場が10年かけて開発
- 「21世紀のコカコーラ」
- ミツバチの蜂蜜作りにヒント

54

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

Flower Valley

- 南アのケープ地域: 46,000㎡に7,000種以上の植物が生育、しかも70%が固有種
- 貧困地域で、失業率も高く、開発圧力が高く、農地転換により野生植物が激減。
 - Fynbos (低地の低木地帯の植生) は往時の2%にまで減少
- 野生の花を販売しながら生物多様性を保全するビジネスモデル
- 1999年: ブドウ栽培地に転換されそうになった690 ha を買い上げ、土地の保全と地域住民のエンパワー
 - 国際支援団体のほか、Shell、British American Tobaccoなども出資
- 基準に従う約200の生産者から買い付け、28,000ha以上を保全。ブーケ加工で付加価値

出典: "A Guide to Biodiversity for the Private Sector" (IFC)

<http://www.flowervalley.org.za/>

55

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.


バイオミクリ

カワセミのクチバン

モルフォチョウの構造色

56

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.



5. 日本の企業の現状と今後

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

鹿島建設

- 「鹿島生態系保全行動指針」を策定(2005年)
 - 建設現場での環境管理計画に組み込む
 - 廃棄物最終処分場の建設時に、在来種の生息域を現況保全地として残し、人口湿地を併設するなどの配慮
- 「生態系情報管理システム」をイントラネット上に整備
 - 顧客に対して環境配慮の提案

鹿島生態系保全行動指針

2005年制定

鹿島建設は、人と自然との共生を推進する社会貢献の一環として、生態系保全を推進する。本指針は、生態系保全の推進を図るための指針として策定された。本指針は、建設現場での環境管理計画に組み込むことにより、生態系保全の推進を図る。本指針は、建設現場での環境管理計画に組み込むことにより、生態系保全の推進を図る。

「鹿島生態系保全行動指針」
(CSRレポートより)

58

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

アレフ(レストランチェーン)

- 外来種を拒否 & 駆除
- セイヨウオオマルハナバチ(外来種)を受粉に使用しないよう契約農家に求める
- セイヨウマルハナバチの駆除に協力
- ふゆみずたんぼ
 - 里山の保全

セイヨウオオマルハナバチ
(CSRレポートより)

59

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

三菱製紙

- **木材調達方針**を制定(2005年)。違法伐採材や遺伝子組み換え材、高い保全価値のある森林(HCVF)の木材、人権問題などのある森林の木材を調達しないことを宣言。
- **輸入チップは全て植林木**。2012年には、輸入チップの60%を自社植林地から調達見込み

森林資源の保護・育成と木材調達および製品の考え方 2005年6月1日制定

2001年に改訂した環境憲章の行動指針において、森林資源の保護・育成(1)植林事業の推進、(2)森林認証の取得、(3)森林利用の拡大の3点を中心に推進することを掲げています。これらを進め木材調達および製品について以下のように考えています。

1. 現地の法律や規制を遵守して生産されていることを確認の上、木材を調達します。
2. 高い保全価値を持ち、その価値が脅かされている森林からの木材を調達しません。
3. 伝統を守る権利または市民権が侵害されている森林からの木材を調達しません。
4. 遺伝子組み換えによる樹木からの木材を調達しません。
5. 植林木、米穀や農機部品で学際二次林材、あるいは再利用品材を調達します。
6. 適切に管理された森林からの木材(FSC認証材)の調達を進めます。
7. FSC森林認証製品の積極的な開発・販売を通して、適切な森林管理および信頼のおける森林認証制度の確立を推進します。

木材調達方針
(CSRレポートより)
Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

リコー

9プロジェクトの概要 (CSRレポートより)

- **国内外で9つの森林生態系保全プロジェクト**を実施
- **各地のNGOや地域住民との協働を重視**
- **NGOからも高い評価**

リコーの森林生態系保全プロジェクト

実施年月	国名	名称/NPO/パートナー	活動内容
1999年6月	バングラデシュ	さとやまの樹元 / ノーシュ	子どもの教育と植林・育木の仕事の提供。
2000年2月	スリランカ	世界遺産地域の森林保全と復元 / スリランカ野鳥集約グループ	スリランカオナガの住める森を直し、拡大する。
2000年3月	フィリピン	熱帯雨林回復* / コンサベーション・インターナショナル	フィリピンで代表される森の生物多様性を保全し、回復していくことのできる豊かな森の回復。
2000年10月	マレーシア	熱帯林・オランウータン生息地回復* / WWF	オランウータンに代表される、絶滅の危機に瀕している生物の生息地を拡大。
2001年11月	中国	温帯林・ハンズ生態系回復* / WWF	ハンズを代表とする437種の脊椎動物や4,000種の植物など重要な生物のすみかを保全し、絶滅種をなくす。
2001年11月	日本	長野県アファンの森林保護* / 財団法人C.W.ニコル・アファンの森林財団	クマ、ヤマメなど多様な生物が生息することのできる広さと豊かな生物のすみかを保全することのできる森林の維持。
2001年11月	日本	沖縄やんばる森林保護* / やんばる森のトラスト	ヤンバルクイアに代表される、世界でここにはみられない貴重な生物のすみかを保全。
2002年3月	ガーナ	熱帯雨林回復* / コンサベーション・インターナショナル	日陰で育つカカオを利用した持続的森林経営による、人と生物が共生できる森の復元。 61
2004年5月	ロシア	北東のトラウ生息地タイガ保全* / Eco Japan	アムールトラをはじめとするさまざまな生物と人が共生する豊かな森の保全。

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

ブリヂストン

- **琵琶湖の生態調査**
 - WWFと協働して、琵琶湖流域の10万カ所で魚類生息調査を行う「びわ湖生命(いのち)の水プロジェクト」



Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved. WWFのHPより

積水ハウス

- 「5本の樹」計画
 - 「3本は鳥のために、2本は蝶のために」
 - 顧客の庭に日本の原種、自生種、在来種などの樹木を植える提案(2001~)
 - 街の生物多様性復活のコアに
 - 地域の植木屋さんと協働
 - 本社ビルでも里山の植生を再現

顧客の庭の様子

(CSRレポートより)

63

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

生物多様性の保全是企業の責任

- 生物多様性はどこにも存在し、それは**すべての人と企業**の問題である
- あらゆる企業と経済活動は、生物多様性や生態系サービスに**依存**している
- 企業活動が生物多様性に与えている**影響**はきわめて大きい
- 企業活動が悪いのではない。ただし、**適切な配慮**は必要
- 適切に配慮すれば、**持続可能な利用**が可能
- 副作用に注意。単純化は危険

Stewardship: 財産管理人としての責務

64

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.

ありがとうございました。

ご意見・ご質問は、
adachi@responseability.jp

持続可能な社会を作るためのブログ
サステナ・ラボ
<http://suslab.seesaa.net/>
ほぼ毎日更新中です

65

Copyright © 2008 Response Ability, Inc. All Rights Reserved.